

アジアにおけるパワーシフト？

—新興国企業をめぐる企業間関係の新段階—

アジア経営学会第 25 回大会統一論題

アジア経営学会第 25 回大会プログラム委員会

委員長 夏目啓二（愛知東邦大学）

副委員長 柳町 功（慶應義塾大学）

委員 川端 望（東北大学）

秋野晶二（立教大学）

肥塚 浩（立命館大学）

大会実行委員長 麻生 潤（同志社大学）

アジアにおけるパワーシフト？—新興国企業をめぐる企業間関係の新段階—

アジア経営学会は、2018 年、学会創設 25 周年を迎える。この間、日米欧の先進国企業の競争上の優位性が低下し、アジアの新興国企業が相対的に競争上優位に立つケースが目立つようになった。そこで、本大会は、先進国企業とアジアの新興国企業との企業間関係の新たな段階を明らかにする。というのも、先進国企業とアジアの新興国企業における企業間関係は、企業内国際分業から企業間国際分業へと変化はじめ、さらに、アジアの新興国企業による日欧米先進国企業の買収が行われるなど新しい企業間関係が生じているからである。この新しい企業間関係は、アジアにおけるオフショア・アウトソーシングとクロスボーダーM&Aとして現れている。こうした日米欧の先進国企業とアジアの新興国企業の新しい企業間関係は、第二次世界大戦後のかれらの企業統治、経営管理、組織構造、社会関係に大きな影響を及ぼしている。この日米欧の先進国企業とアジア企業との新しい企業間関係は、国際経営上の大きな歴史的変化として位置づけられるパラダイム転換だろうか。本大会は、学会創設 25 周年を記念してこの課題を追究する。

報告者紹介

立本博文（筑波大学）主著：立本博文（2017）『プラットフォーム企業のグローバル戦略—オープン標準の戦略的活用とビジネスエコシステム』有斐閣

森原康仁（三重大学）主著：森原康仁（2017）『アメリカ IT 企業のサービス化—インテル支配と IBM の事業変革』日本経済評論社

宋 娘沃（中国短期大学）主著：宋 娘沃（2005）『技術発展と半導体産業—韓国半導体産業の発展メカニズム』文理閣

川上桃子（ジェトロ・アジア経済研究所）主著：川上桃子（2012）『圧縮された産業発展—台湾ノートパソコン企業の成長メカニズム』名古屋大学出版会